

2020年6月15日

天馬の株主の皆様各位  
報道関係各位

天馬のガバナンス向上を考える株主の会

## 本年6月12日付けで発行された 議決権行使助言会社ISSによるレポートについて

「天馬のガバナンス向上を考える株主の会」(以下「当会」といいます。 )は、本年5月20日付け「天馬株式会社に対する株主提案権の行使について」において、天馬株式会社(東証1部：証券コード7958、以下「天馬」といいます。 )に対し、本年6月26日開催予定の定時株主総会(以下「本総会」といいます。 )での取締役選任について、現取締役を完全に刷新し、新たな取締役体制にすることを求める株主提案(以下「本提案」といいます。 )を行っているところです(本総会招集通知22～26頁記載の本総会の第5号議案)が、本年6月12日付けで発行された、有力な議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc.(以下「ISS」といいます。 )のレポート(以下「ISSレポート」といいます。 )で、会社提案にかかる金田宏常務取締役、須藤隆志取締役、与謝野明氏の3名について、いずれもベトナムでの贈賄事件に関与した可能性があるため、その取締役選任議案につき「反対推奨」するとされているとの情報を入手いたしました。これらは、当会の主張についてISSからもご理解がいただけたものと受け止めております。

また、当会は、本提案として、春山幸雄(執行役員)、館野一治(常務執行役員)、柳澤成之(執行役員)、坂井一郎(執行役員)、川村修治(常務執行役員)、筒野信之進(執行役員)、江河知寿(執行役員)及び淵上敬亮(執行役員)の8名を「監査等委員でない取締役」として選任するよう求める議案を提案しているところ、ISSレポートでは、上記8名の中で、現時点で取締役への就任承諾が得られている6名のうち、柳澤成之、坂井一郎、筒野信之進及び江河知寿の4名について、「賛成推奨」されているとの情報も入手いたしました。

他方、ISSレポートでは、本提案における「監査等委員でない取締役」の候補者のうち、館野一治と春山幸雄は今回のベトナムでの贈賄事件に関与した可能性があるため、その取締役選任議案につき反対推奨するとされているとの情報を入手いたしました。しかしながら、これらは明らかな事実誤認であるため、本

注：本書は、本総会における会社提案議案及び株主提案議案のいずれについても、当会を構成する者又は第三者に議決権の行使を代理させることを勧誘するものではありません。

日、当会は、その旨をご説明する文書を、別紙のとおり公開いたしましたので、  
ここにお知らせいたします。

報道機関 お問い合わせ窓口

「天馬のガバナンス向上を考える株主の会」

事務局：連絡先 03-6721-5099

(報道対応に係る業務受託者：パスファインド株式会社)

ホームページ：<http://tsukasanews.com>

注：本書は、本総会における会社提案議案及び株主提案議案のいずれについても、当会を構成する者又は第三者に議決権の行使を代理させることを勧誘するものではありません。